

大学で契約しているデータベースは、大学の構成員向けに契約しているので、学内の ネットワーク(有線LAN・無線LAN)に接続したパソコンなどから利用できるように なっています。IPアドレスでデータベースへの接続が制御されています。 しかし、次に説明する方法で接続すれば学内と同様に、自宅や出張先などでも、契約し ているデータベースが利用できるようになっています。

こちらの資料「学外から電子資料を使う」では、その学外から利用する方法を説明しま す。

今年は新型コロナ対応で、在宅を余儀なくされました。 しかし、自宅での学習や研究でも利用可能な電子資料も多くありますので、ぜひ学習や 研究にご活用ください。



それでは、学外から電子資料を利用する方法を説明します。 学外で、データベースに接続しようとすると、契約しているものであっても、アクセス している人が大学の構成員だと認識されないので、すぐに検索画面が開かなかったり、 電子ジャーナルのフルテキストがダウンロードできなかったりします。しかし、次のよ うな接続方法をすると、大学構成員だと認識されて、学内で接続している時と同様に利 用ができるようになります。

(注意事項:一部のデータベース、Web of Science Core Collection, AIP・CUP・RSCの 電子ジャーナルについては、契約上、派遣職員・名誉教授・外国人研究者・外国人受託 研修員・民間等共同研究員・受託研究員・内地研究員・日本学術振興会特別研究員・そ の他研究員の方は学外からのリモート接続は不可になっています。ご了承ください。 Web of Science Core Collection については提供元への申請により利用可能になる場合 があります。)



学外から接続する主な方法は3つあります。

1つめはVPN(ブイ・ピー・エヌ Virtual Private Network)接続です。 今回の「文献調査」で説明しています4つの文献検索データベースでいうと Web of Science, Scopus, JDream III, SciFinder-n ともにVPN接続に対応しています。

2つめは「学認(がくにん)」サービスを通じた接続です。 「学認」とは、学術認証フェデレーションのことです。(英語表記:GakuNin) Web of Science と Scopus が対応しています。

3つめは、各データベースで個人アカウントを作成し、その個人アカウントでログイン する方法です。

SciFinder-nが、新型コロナ対策の特別措置として期間限定で対応しています。



順番に説明していきましょう。 1つめのVPN接続の方法です。

まず、VPN接続の方法については、情報メディア基盤センターのVPN接続のページ <u>http://imc.tut.ac.jp/network/vpn</u>を参照してください。 この説明のページは、情報メディア基盤センターのアカウント・パスワードを入力する と学外でも閲覧することができます。

記載されている接続手順に従って、自分のパソコンや端末にVPN接続用ソフトウェアを ダウンロードして、設定をしてください。

VPN接続すると、学内にいるのと同様に利用できます。

ソフトウェアをダウンロードする手間がありますが、ほぼ、どのデータベースも対応で きますので利用してみてください。

2.学認で接続	Web of Scie	Web of Science http://webofknowledge.com/wos
学外でWeb of Sc Web of Science	ience に接続した画面 Can	
世	用:米51・切け201青年2/フットフォー。 所属機関サインイン 所属機関ウルーブ・地域でサインイン ③ 	イ 所属機関サインイン 所属機関グループ・地域でサインイン 所属機関・地域の選択
○ サインイン爆発を保存する	60	Italian Higher Education & Research (IDEM) Japanese Research and Education (GakuNin) Korean Access Eederation GakuNin 所属機関の選択
-眞料その2 学外から電子資料を使う・	3	サービス************************************

2つめ、「学認」(がくにん)というシステムを通じて接続する方法です。

大学で、「学認」接続可となっているデータベースについて個々に設定を行い、学外か ら利用できるようにしています。

「学認」での接続は、それぞれデータベースによってログインするところが異なります ので画面例を参照してご利用ください。 情報メディア基盤センターのアカウントとパスワードを入力するだけで、利用できます。 ソフトウェアなどのダウンロードは必要ありません。

こちらはWeb of Science の学認で接続する画面例です。 Web of Science のサイト <u>http://webofknowledge.com/wos</u> に接続します。 ①学外でWeb of Science へ接続すると、通常とは異なり、サインインの画面になります。 ②「所属機関サインイン」というところで、Japanese Research and Education (GakuNin)を選択して「Go」をクリックします。 ③所属機関の選択で 豊橋技術科学大学 を選択します。

2. 学認で接続 Web of Scienceの場合 (つさき) ● 「● 「● 「● 「● 「● 「● 「● ● ● ● ● ● ● ● ●	
せん。 © R回ログイン街に再度チェックします。 Web of Science	Clarivate
→今回だけ情報を送信することに同意します。 いたり らう ひんだれをひ シール・検索とアラート・検索	Wayes
ロクイン Cのサービスに送信する情報が変わった場合は、角度チェックします。 今回と同じ情報であれば今後も自動的にこのサービスに送信することに同 データペースを継釈 Web of Science Core Collection	
(1770) バッカンド・ハッカン (1775) (1770) (177	
すべての私に関する情報を今後アクセスするすべてのサービスに送信する 「Millingal' modiferrationan © トビック ・ 総第 MANDE:	>>
この設定はログインページのチェックボックスでいつでも取り消すことができまし、「行き点」 ・ 行き点面 リビット	
- 資料その2 学外から電子資料を使う・	

④次に、情報メディア基盤センターの個人アカウント・パスワード入力画面になりますので、入力します。⑤その後は画面に従って、情報の送信に「同意」すると

⑥Web of Science の検索画面に遷移します。

その後は、学内にいるときと同様に利用できます。

2.学認で接続 So 学外でScopus に接続した画面	copusの場合 ugh your institution. Check Access	Scopus https://www.scopus.com/
Scopus Previewへようこ	× ELSEVIER 所属機関を検索	
Scopus製品情報 ^ヵ ブログ ^ヵ ^① アクセスをチェック ユーザー名とパスワードまたは所	 続けるには、メールアドレスまたは所属機関名を入力してください。 さい 所属機関のメールアドレスまたは所属機関名 Toyohashi 	× ELSEVIER 所属機関経由でサインイン ^{続行するには所属機関経由でアクセスして下さい}
属機関を通じてアクセスできるか どうか確認してください。 Scopusへのアクセスをチェック	Scc Toyohashi Municipal Hospital Toyohashi Heart Center Toyohashi SOZO university Toyohashi SOZO university	3
-資料その2 学外から電子資料を使う・	^書 続行する	所属機関経由でサインイン別の方法を試す

こちらはScopusに「学認」で接続する方法です。 <u>https://www.scopus.com/</u> でScopusサイトに接続します。

①学外でScopusへ接続すると、アクセスをチェックの画面になります。
 「アクセスをチェック」をクリックします。

②所属機関を検索の画面になりますので、「Toyohashi University of Technology」
 を入力して「続行する」をクリックします。
 (このとき、Toyohashi と入力すると選択候補が表示されますので該当をクリックします。)

③次にToyohashi University of Technology と表示されているところで「所属機関経由で サインイン」をクリックします。

2. 学認で (つづき) (つづき) ④ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	<section-header></section-header>	ELSEVIER Image: Construction of the
 資料その2 学外から電子資料を使う 	1-	

④情報メディア基盤センターのアカウント・パスワードを入力します。(既に入力しているとこの画面が省略される場合があります。)
 ⑤情報の送信に「同意」します。

⑥次の画面は「登録せずに続行する」で⑦通常の検索画面に遷移し、学内と同様に検索できるようになります。

3.個人アカウントで接続 SciFinder ⁿ の場合			
Log In to SciFinder ⁿ	https://scifinder-n.cas.org/		
Vsername or Email Address	SciFinder ⁿ ユーザー登録(大学向け) <u>https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn_aca_user.pdf</u>		
Create an account. Can't log in? By using ScPinder*, you agree to the License Agreements and Policies	Scifinder ⁿ の個人アカウント作成について 説明のページ (学内閲覧限定ページ) <u>http://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/tut-</u> <u>only/scifinderN_reg.html</u>		
- 資料その2 学外から電子資料を使う・			

3つめは、あらかじめ学内ネットワークに接続したパソコンでデータベースに接続し、個 人アカウントを作成、そのアカウントを使って学外から利用するという方法です。

SciFinder-n(サイファインダーエヌ)は個人毎にアカウントを作成し、その個人アカウ ントでアクセスして利用する方法になっています。

通常学内利用限定のところ、現在は新型コロナ対応で特別に、学外でも個人アカウント で利用が可能になっています。

ただし、個人アカウントの作成は学内で行っていただくか、あるいは、VPN接続して作成していただく必要があります。

2021年1月11日までの特別な措置です。 それ以降は、学内利用限定(IPアドレス制御)になります。

個人アカウント作成については、 ユーザー登録(大学向け)のガイド(学外でも閲覧可)や https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn aca user.pdf

こちらのページ(学内閲覧限定) <u>http://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/tut-only/scifinderN_reg.html</u> を参照ください。



以上のような接続方法で行うと、学外からも契約しているデータベースを利用すること ができるようになっています。

今回はWeb of Science や Scopus での例を説明しましたが、

そのほかの電子資料(データベース・電子ジャーナル・電子ブックなど)の学認システムでの接続方法画面例や、個人アカウントの作成などについては、図書館ホームページ http://www.lib.tut.ac.jp/search/outcampus.html

に掲載しています。

青いバーの検索のところにカーソルを合わせてプルダウンされる「学外からの利用」の ページをご覧ください。

参考にしていただき、在宅での研究や学習にぜひご活用ください。 学外からの利用についてご不明な点は、図書館までお問い合わせください。メールや Webからのお問い合わせを受け付けています。